

白川わくわくランド ニュース

第16号

発行
 ●白川流域住民交流センター
 (白川わくわくランド)
 〒860-0854
 熊本市東子飼町8-55
 TEL・FAX(096)346-5454
 ホームページアドレス
<http://www.wakuwaku-land.com>
 メールアドレス
wakuwaku@wakuwaku-land.com

「白川」を題材にした選択理科の学習

江南中学校の実践

江南中学校では、四年前から選択理科の授業に、白川での体験活動を取り入れています。学習のきっかけは、「身近な白川で遊んだことがない。」という生徒が大半であったので、担当の森本教諭が体験を通して身近な水環境を学ばせようと考えたとです。

基本的には、週一時間の授業で、年に数回、休日の環境イベントなどに参加しています。本年度は、二年生と三年生で二コースずつ実施しています。

主な学習の流れは、平成十五年度を例に取り左記に示しました。

- ①白川での直接体験では、川遊びなどの中で自然の良さや環境保全の大切さについて考え、川や自然に親しみを持つようになっ
- ②各種コンクールや環境イベントへの参加の度に色々な面で環境について深く考えをまとめたり、活動を振り返ったりする機会となつていきます。また、自分たちが情報を発信し、多くの方に環境について考えてもらう機会が提供できていると実感しています。
- ③色々な仲間との交流の機会も増え、相手への優しい気持ちも高まってきています。「環境への配慮」の輪が広がっています。

平成15年度の主な学習の流れ

【1学期】

身近な「白川」での自然に親しむ体験活動
 や水質調査活動

- 段ボール船体験
- バックテストCODや水生生物による水環境調査
- カヌー体験(白川わくわくランド)



【2学期】

身近な「白川」で体験して学んだことの情報発信活動

- 諸団体の環境イベントで発表
- 壁新聞やレポートで発表



【3学期】

川を汚している主な原因や水環境保全の必要性を科学的に学び、生活を見直す活動

- 白川の水の浄化能力実験
- 水の循環・水環境等の学習



今年の夏も、白川わくわくランドの前の白川でカヌーをしたり泳いだり…。水の冷たさが心地よかったです。



白川の橋 — ⑫ 長六橋



国道3号に架かる長六橋は慶長6年(1601)に架けられたと言われる。名前もこれに由来しているそうだ。長六橋は白川に架けられた最初の橋で、加藤清正によるものである。熊本城を守る内堀を坪井川、外堀を白川に見立て、橋としてはこの橋を唯一の交差点にしたといわれる。

最初の架設以来、度重なる水害で何度も架け替えられたが、昭和初期に架けられた橋は、鉄橋でトラスタイプアーチ橋である。戦前川尻電車も走っていたこの橋は、6.26水害にも持ちこたえている。その姿は、兩岸の小学校の子供たちの絵として橋下歩道に残されている。

現在の橋は、昭和58年に着手されたもので橋長123.2mである。

長六橋周辺は、リバーオアシスとして整備され市民の散歩道になっている。

寺子屋(1)

わくわくお天気教室

期 日 / 平成十六年七月二十二日
場 所 / 熊本地方気象台
熊本市京町二丁目十二の二十
参加者 / 二十五名

毎日の生活に気象情報は欠かせません。台風や大雨など災害に発展する可能性のある気象予報だけでなく、日常生活にも天気情報は不可欠です。

今回は、二十四時間、毎日気象観測が行われている熊本地方気象台で「わくわくお天気教室」を実施しました。気象台の方の配慮で、実際の仕事場まで見学させていただき、データーを処理したり、予報を検討されている姿も見せていただきました。気象台の施設見学や気象実験、夏休みの自由研究のヒントなど興味深い学習内容でした。気象台マスコットの「はれるくん」との出会いもあり、この寺子屋を「層印象深いものにしたようです。子どもたちには充実した二日になりました。」



雨量計は
こんなしくみだよ。



なるほど!!

たくさんのコンピュータがあるな。仕事をしている人の邪魔をしないようにきをつけよう。



「はれるくん」と一緒に



すごい!
落ちてくる雨粒は
まんじゅうの形なんだ。

寺子屋(2) 阿蘇谷源流探検

日 時 / 平成16年8月5日(木)・9:00~16:00 場所 / 阿蘇谷方面 参加者 / 15名

今回の寺子屋の目的は、日頃見ている下流域の白川と川の上流の違いを、川遊びなどを通して体感すること、水のありがたさを実感すること、水辺の自然に触れることでした。



西瀬浦公園で昼食
水辺公園でトンボやクワガタなど夏の昆虫を観察したり、水質検査をしたりしました。



二重の峠石畳

真夏の太陽を浴びながら、参勤交代の道、二重の峠の石畳を坂の下まで往時を思いながら下り、昔の人の苦勞と水のありがたさを実感しました。

紅地川

昼過ぎに紅地川到着。水温19.5℃の清流に入りおおしゃぎ。水質を調べたり、水生生物を調べる子供たちも。残念ながら、夕立と雷に遭い早々に退散せざるをえなかったけれど、これも自然界の営み。太刀打ちできない人間の小ささを体験しました。帰路は、黒川と白川の合流地点を阿蘇長陽大橋から観察しました。



白川と黒川の
合流地点を渡る

川の豆知識 ② 堤内と堤外

川が流れている側がそとで、堤外。人が住む町や村がうちに、堤内。生活を水害から守るため地域全体を堤防で囲んだ「輪中」を考えるとわかりやすいです。



第12回

立野ダム上下流子供交流会

立野ダム工事事務所では、ダムの上流域と下流域における小学校の相互交流と「立野ダム事業」に対する理解を深めてもらうことを目的に、平成五年から立野ダム上下流子供交流会を開催しており、今年で十一回目となりました。

今年、長陽小学校、長陽西部小学校、立野小学校、白川小学校の四年生九十九名、家族等七十三名の総勢百六十四名の皆さんに参加頂き、八月五日（木）と六日（金）の二日間に分けて開催しました。

交流会では、各小学校混合の四チームに分かれ、白川と立野ダムの仕組み等について勉強し、地質調査用に使っているトンネル（横坑）の見学や、白川の水質調査をしました。



午後からは、白川に入り、レスキュー体験や力又体験をしました。子供も大人も一緒に川の楽しさを体感し、川で流された

時の対応も学びました。

最後に、子供たちから寄せ書きを書いてもらいましたが、「友達が出来てよかった」「立野ダムのことがわかった等、嬉しい感想をもらっており、交流会の目的が達成できたのではないかと思っております。

この交流会が、参加された皆さんにとって夏の楽しい思い出の一つとして残っていれば幸いです。



白川わくわくランド 9月からの寺子屋

山と川の自然の学校 ～秋のキャンプ～

平成16年9月19日～20日（日・祝）
 集合 9時30分
 集合場所 白川わくわくランド
 実施場所 長陽村立野
 募集対象 小学4年生～高校3年生以下
 参加費用 5,000円
 参加定員 30名
 主催 NPO法人 白川わんぱく探検隊

秋の一の宮散策

一の宮町の豊かな自然、水とのかかわりが深い当地の生活・文化に触れる。

平成16年11月6日（土）
 時間 9:00～16:00
 集合場所 白川わくわくランド
 募集対象 高校生以上
 参加費用 1,200円
 参加定員 30名
 主催 白川流域住民交流センター

秋の星座観察会

秋の星座と月を観察しよう！

平成16年10月22日（金）
 時間 18:30～20:30
 集合場所 白川わくわくランド
 募集対象 年齢制限なし
 参加費用 100円（保険代）
 参加定員 30名
 主催 白川流域住民交流センター

白川ハイキング&

ストーンペインティング

河川敷を散策して冬の生物観察。水切り石投げやストーンペインティングも。

平成16年12月4日（土）
 時間 11:00～15:00
 集合場所 白川わくわくランド
 募集対象 小学生以上
 参加費用 100円（保険代）
 参加定員 20名
 主催 白川流域住民交流センター

<http://www.wakuwaku-land.com>
wakuwaku@wakuwaku-land.com